



okta

HITACHI
Inspire the Next

クラウド型ID管理・統合認証サービス – Identity as a Service –

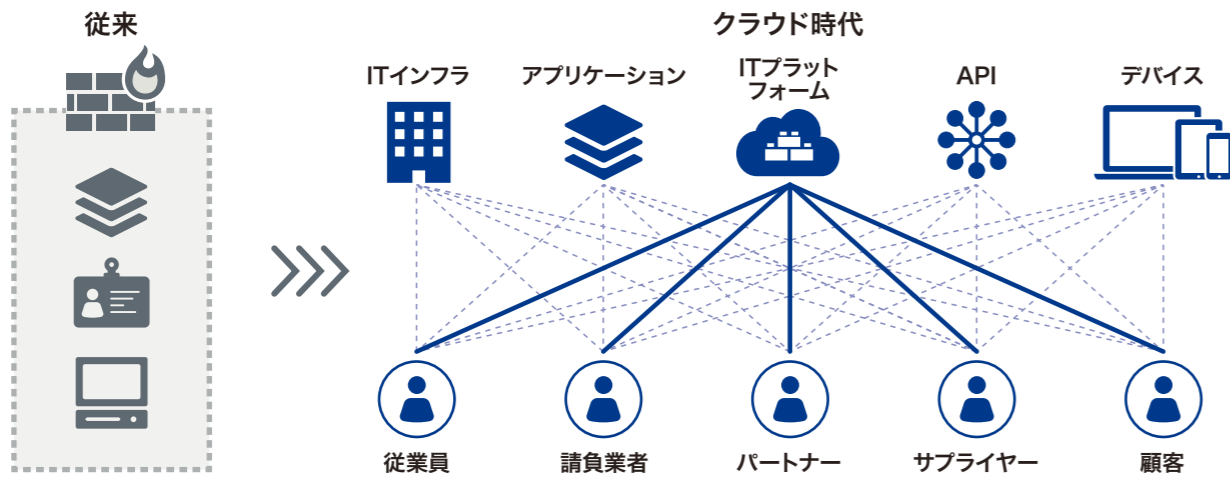
Okta Workforce Identity Cloud

ID や認証を含むアイデンティティ管理を一元化して
クラウドやオンプレミスへの安全かつ効率的なアクセスを実現



IDaaSを活用して、クラウドサービスとユーザーをセキュアかつスムーズに接続する

クラウドサービスの活用に、なぜ「IDaaS^{*1}」が必要なのか? *1 Identity as a Service



「ID管理」はこれまでオンプレミスの一部として機能しており、企業内と企業外の境界は「ファイアウォール」が担ってきました。しかし、現代はクラウドサービスやスマートデバイスの発展により、境界の概念が「アイデンティティ（身元情報）」に移り変わりつつあります。このクラウド時代に安全性と効率化を両立するためには、ID管理や認証・アクセス制御などをクラウド上でまとめて運用できる「IDaaS」が必要不可欠な仕組みとなります。

このような状況にあって、Okta Workforce Identity Cloud は
機能性と利便性に優れたIDaaSです

Okta Workforce Identity Cloud の機能とできることは?

Single Sign-On (SSO)



一度の認証でさまざまなクラウドサービスの利用を実現する機能。ユーザーの使い勝手の向上とともに、ID・パスワードの使いまわしによる情報漏洩のリスクも抑えます。

- クラウドサービス・オンプレミスに実装されているアプリケーションに対応
- オンプレミスのAD^{*2}やLDAP^{*3}からのプロビジョニング、認証連携にも対応
- すでに利用しているサードパーティMFA^{*4}との連携 (RADIUS^{*5}認証を含む)

*2 AD: Active Directory
*3 LDAP: Lightweight Directory Access Protocol
*4 MFA: Multi-Factor Authentication (多要素認証)
*5 RADIUS: Remote Authentication Dial In User Service

Life Cycle Management



IDの追加・修正・削除など、クラウドサービスへのプロビジョニングを一括管理できる機能。人事システム、Active Directory、CSVファイルなどからOktaへプロビジョニングすることもできます。

- Okta Workforce Identity Cloud の管理画面上ですべてのユーザーを一元管理
- ADやLDAPなどのオンプレミスへのプロビジョニング
- オンプレミス上のアプリケーションへのSCIM^{*6}などによるプロビジョニング

*6 SCIM: System for Cross-domain Identity Management

Multi-Factor Authentication



ワンタイムパスワードや生体認証などを併用して認証を強化する機能。認証におけるセキュリティポリシーの統一にも活用できます。

- スマートフォン利用時のさまざまな多要素認証を提供
- 標準で地域認証、端末認証、ネットワーク認証へ対応しており、さらに上位オプションで、国識別、旅行パターン識別、新規デバイス検出にも対応
- ユーザー・利用場所・多要素認証登録場所などの組み合わせをポリシーとして管理可能

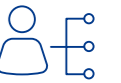
Universal Directory



認証やプロビジョニングなどの機能を追加したい場合にディレクトリの項目を拡張し、運用効率と利便性を向上させる機能。認証におけるセキュリティポリシーの強化にも利用できます。

- 管理属性を拡張し、属性のマッピングとその変換にも対応
- 複数のパスワードポリシーを定義

Identity Governance



IDやユーザー属性情報、アクセス情報を包括的に可視化・管理する機能。アクセス権申請受付・承認・付与を別途システムを開発せずに管理できます。

- アクセス承認フローの自動化や監査用レポートの容易な作成
- Slack や Microsoft Teams などのコミュニケーションツールと連携した申請
- 負荷を抑えたID棚卸や適切なアクセス管理

「いつでも」「誰でも」「何とでも」接続できる! Okta Workforce Identity Cloud が持つ 5つの魅力

1 >>> 優れた連携

SSOを実現するコネクタを標準で7,000以上^{*7}提供し、管理者はスムーズに認証の設定ができます。ID管理まで一元化できるクラウドサービスにも250以上対応し、オンプレミスアプリケーションともSSOを実現できるほか、APIやCSVといった連携インタフェースも充実しています。

*7 2023年12月現在

2 >>> セキュリティが強い

スマートフォンのプッシュ認証やワンタイムパスワード認証、サードパーティMFAとの連携を実現し、さらに最新の生体認証にも対応します。加えて、多要素認証を社外からのアクセスのみに適用したり、部門・グループで分けたりと、ユースケースに応じて認証ポリシーをきめ細かく設定できるのも強みです。

3 >>> 管理者が使いやすい

直感的に操作できる使いやすい管理画面を用意し、ユーザー、連携アプリケーション、認証ポリシーなどを一元管理。他製品との親和性が高く、すでに使用しているサードパーティ製品やMDM^{*8}製品も継続利用が可能。また、日本のお客さまに安心して利用いただけるよう、日立ソリューションズは日本語のサポートにも対応しています。

*8 MDM: Mobile Device Management

4 >>> 信頼性の高いサービスを提供

ユーザー・管理者の利便性を追求するために、短時間でアップデートをリリース。メンテナンスによる認証サービスの停止はないので、運用への影響もありません。万が一脆弱性が発見された場合も迅速に対応します。

5 >>> ポリシー統一に有効

Okta Workforce Identity Cloud は、オンプレミスのAD統合やネットワークの見直しといった作業を必要とせずユーザー登録だけで利用できるため、M&Aやグループ企業のITインフラ統合に迅速かつ柔軟に対応できます。さらに、海外を含むグループ企業全体での利用も可能。日立グループも30万ユーザーが利用しています。



Okta Workforce Identity Cloud をオススメする3つのポイント

7,000*⁹を超える アプリケーションに対応

企業で利用されるアプリケーションに幅広く対応。連携用にプラグインを開発する手間なく、スムーズにユーザー管理を統合できます。

*⁹ 2023年12月現在

“必要な機能”だけを オプションで自由に選択

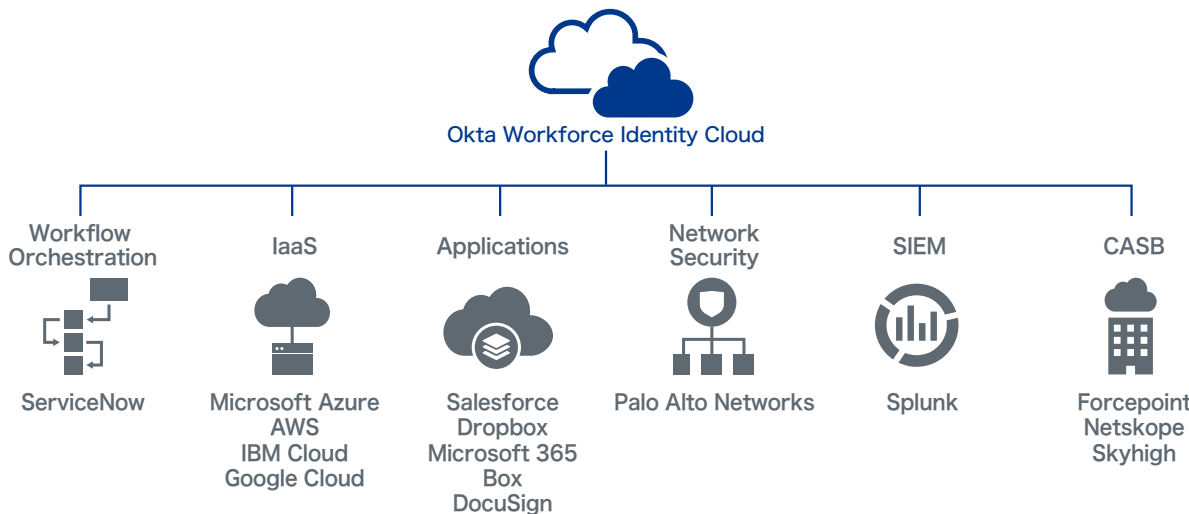
種類・機能が豊富なオプション群を用意し、ユーザーは要件や業務に合わせた組み合わせが選べます。運用面はもちろん、費用面でも効率的な利用が可能です。

99.99%の 高い稼働率

SLA*¹⁰により稼働率99.99%を保証、継続的に維持*¹¹。安定した業務の遂行を支援します。

*¹⁰ SLA: Service Level Agreement
*¹¹ 2023年12月現在

Okta Workforce Identity Cloud は、あらゆるデバイス上における ユーザーとテクノロジーの「統合」をめざします



クラウド環境の進化によって、企業は絶え間ないイノベーションとともに、これまでの範囲を超えるユーザー統合への対応を求められています。Okta Workforce Identity Cloudはクラウドサービスへのシングルサインオンだけでなく、アプリケーションやITインフラ、APIなどへの統合までを容易にし、顧客が思い描くより良いユーザー体験を実現していきます。

仕様

◆ 認証連携方式

SAML 2.0
OpenID Connect
OAuth 2.0
Secure Web Authentication (SWA) (ブラウザ代理認証)
Okta Access Gateway (リバースプロキシ)
LDAP Interface
認証API

◆ 対応ブラウザ

Internet Explorer 11 サインインウィジェットでサポート
Microsoft Edge WindowsとmacOSでサポート (Microsoft Edge(レガシー)は非対称)
Google Chrome 最新公開バージョン
Safari 最新公開バージョン
Firefox ラビッドリリースの最新公開バージョン
拡張サポート・リリースの最新公開バージョン

◆ サードパーティ製 多要素認証

Symantec VIP
Duo Security
Google Authenticator
YubiKey
Windows Hello
その他 FIDO2 (WebAuthn)
対応の認証器

◆ 端末制限

MDM連携
クライアント証明書
OS/バージョン制限

※Oktaは、Okta, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/okta/

S18S-08-04 2024.01